



携帯電話料金の低廉化に向けた 二大臣会合について

令和3年7月9日
事 務 局

- 携帯電話が国民の生活必需品となる中、家計負担の約4%を占める携帯電話料金の低廉化に向けた環境整備を図るため、総務省、公正取引委員会及び消費者庁が連携・協力し、モバイル市場の健全な発展に向けた取組を強力に推進することを目的として、「携帯電話料金の低廉化に向けた二大臣会合」（以下「二大臣会合」という。）を開催。（2020年12月9日：第1回、2021年6月29日：第2回）
- 二大臣会合の下に、3省庁等の局長級職員で構成する共同検討チームを設置し、検討事項に関する進捗状況の共有、新たな課題への対応方針の調整等を行い、適宜、二大臣会合に報告を行う。（2020年12月9日：第1回（二大臣会合と合同開催）、同年12月24日：第2回、2021年3月10日：第3回、同年5月11日：第4回、同年6月29日：第5回（二大臣会合と合同開催））



携帯電話料金の低廉化に向けた二大臣会合

構成員

- ・ 総務大臣
- ・ 内閣府特命担当大臣（公正取引委員会、消費者庁担当）

主な検討事項

- ① 事業者間の乗換え及びプラン・ブランド間の変更の円滑化
- ② 消費者による合理的な選択の促進
- ③ その他必要と考えられる事項

共同検討チーム

構成員

- ・ 総務省総合通信基盤局長
- ・ 公正取引委員会事務総局経済取引局長
- ・ 消費者庁次長

検討事項に関する進捗状況の共有
新たな課題への対応方針の調整 等

適宜、報告

3省庁における取組状況

● 携帯電話料金の低廉化に向けた二大臣会合

- ・ 昨年12月以降、共同検討チーム(局長級会合)を計5回開催。
- ・ 密な情報共有の下、連携を強化、役割を整理して課題に対応。

● 各省庁での取組

- ・ 「アクション・プラン」の実行【総務省】
 - － 改正電気通信事業法の厳正な執行(ガイドライン改正、覆面調査)
 - － データ接続料算定の精緻化を要請、音声卸料金について検証
 - － 競争への取組を考慮した電波割当の実施
 - － スwitching円滑化TFにおける報告書の取りまとめ
 - － 国民利用者向け「携帯電話ポータルサイト」の開設 等
- ・ 携帯電話市場のフォローアップ調査(6月10日公表)【公取委】
 - － 通信・端末セット販売、4年縛り等のフォローアップ調査・提言
 - － 新たな課題(販売代理店、MVNOの競争環境の確保等)に係る調査・提言
 - － 中古端末・修理用部品に関する調査・提言
 - － MNO3社に対する点検・改善・報告要請
- ・ 携帯電話の表示に関する総点検【消費者庁】
 - － 分かりやすい表示への対応を要請(最低価格の強調表示等)
 - － 非回線契約者に対する端末販売拒否に関する指導

主な成果

◆…利用者向け成果、■…事業者向け成果

◆ 携帯電話料金の低廉化

- ・ MNO、MVNO各社からの新料金プランの提供開始(2月以降順次)
- ・ 国際的に見ても安い料金水準を実現(5月発表済)

◆ 広告表示の適正化

- ・ 総点検で指摘した最低価格強調表示等の是正(6月までに是正済)

◆ 低廉な新料金プランへの

- 移行実績(主要MNO/MVNO各社)
- ・ 契約数 約1,570万(5月末時点)

◆ 乗換の円滑化

- ・ 同一事業者内のプラン・ブランド変更に係る手数料の撤廃(3月撤廃済)
- ・ 番号ポータビリティの無料化・24時間オンライン対応(4月実施済)
- ・ eSIMの実現(本年夏以降順次)
- ・ SIMロックの原則禁止(本年10月以降に発売する新端末はSIMフリーに)
- ・ キャリアメールの「持ち運び」の実現(年内)

■ データ接続料・音声卸料金の低廉化【MVNO向け】

- ・ 「3年で半減」としていた当初目標を2年で実現(2月実現済)
- ・ 音声卸料金を大幅に引下げ(4月引下げ)

■ 端末メーカーによる純正部品の供給の開始【修理業者向け】

今後の課題

※総務省においては、「競争ルールの検証に関するWG」等における今後の議論を踏まえ、より具体化。

● 市場環境の継続的な確認・検証【総務省・公取委】

- ・ 利用者の移行状況や事業者の具体的な取組状況について、継続して確認・検証。必要に応じて追加的な対応を検討。

● 販売代理店における説明の適正化等【総務省・公取委・消費者庁】

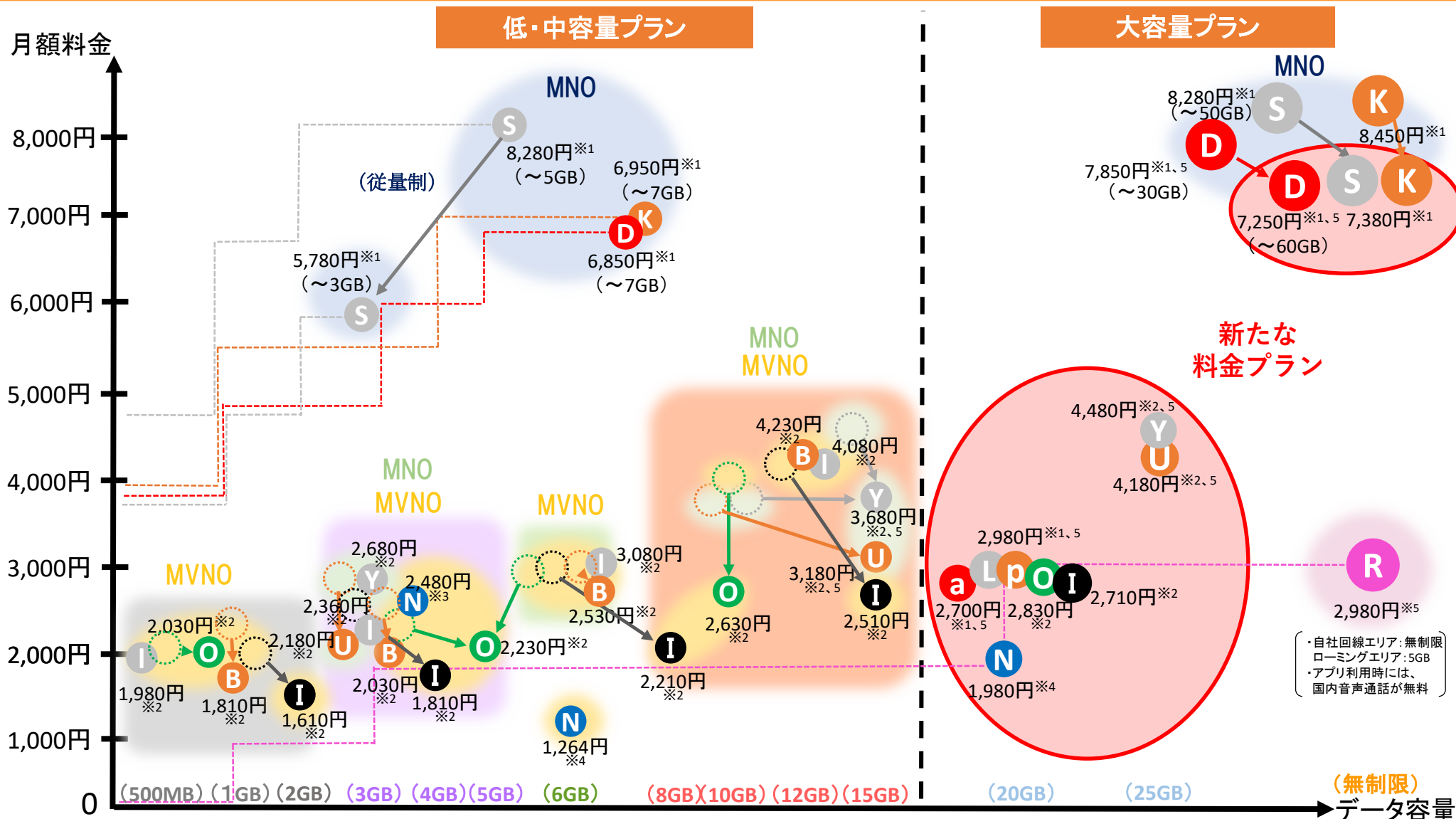
- ・ 法令違反を助長するような委託契約を是正するためのルール整備、諸課題について継続的なモニタリングを実施。

● MVNO向け卸料金の適正化【総務省】

- ・ MNOとMVNOの間の卸料金に関する協議が有効に働くためのルール整備を検討。

● 消費者が適切な商品・プラン選択を行うための環境整備【消費者庁・総務省】

- ・ 携帯電話の不当表示等について継続して監視、消費者向けの情報提供の積極的な実施。



D: NTTドコモ **a**: ahamo **K**: au **p**: povo **U**: UQmobile **B**: ビッグローブ (KDDI系列のMVNO) **R**: 楽天モバイル
S: SoftBank **L**: LINEMO **Y**: Y!mobile **I**: LINEモバイル (ソフトバンク系列のMVNO) **I**: IIJ **O**: オプテージ **N**: 日本通信

注: 音声あり・期間拘束なしプランで比較。 ※1: 1回5分以内の国内通話無料。 ※2: 1回10分以内の国内通話無料。 ※3: 国内通話かけ放題。 ※4: 国内通話月70分無料。 ※5: 月間データ利用量が契約容量を超過した場合の通信速度は、送受信時最大1Mbps。

割引適用後の最低価格の強調表示等についての見直し状況

【改善点】

✓ 割引適用前の基本料金を冒頭に明記、割引条件ごとの割引額を一覧で整理

総点検前

NTTドコモ

ギガホ 対象契約:Xi

ご家族^{※1} 3回線以上がドコモなら^{※2}、1人あたり

dカードお支払割^{※3}または2年定期契約^{※4} + ドコモ光セット割^{※5} の料金

最大6か月間 **3,980** (税抜) 円/月^{※6} (7か月目以降:4,980円(税抜)/月)

総点検後

60GB/月まで使えるキャンペーン実施中!

ギガホ 対象契約:Xi

月額料金(定期契約なし) **7,865** 円

ご家族^{※1} 3回線以上がドコモなら^{※2} **▲1,100** 円 + ドコモ光セット割^{※3} **▲1,100** 円

+ dカードお支払割^{※4} **▲187** 円 + ギガホ割(最大6か月間)^{※5} **▲1,100** 円

適用後の料金

1人あたり 最大6か月間 **4,378** 円/月 (税抜:3,980円) 7か月目以降 **5,478** 円/月 (税抜:4,980円)

総点検前

KDDI

データMAX 4G LTE

家族4人 一人あたり **3,460** 円/月~ 翌月から6か月間

7か月目以降 4,460円/月~
以下適用時

・家族割プラス (4人以上)

・2年契約N^{※1}

・auスマートバリュー (ご自宅のインターネットサービスなどのご加入が必要です。別途利用料がかかります。)

・スマホ応援割^{※2}

※通話料 (20円/30秒) など別途がかかります。

総点検後

使い放題MAX 4G

各種割引適用前: **6,580** 円/月 (税込7,238円/月)

①家族割プラス (3人以上) + ②auスマートバリュー + ③au PAY カードお支払い割

適用で

4,480 (税抜) 円/月
(税込4,928円/月)

※上記プランには国内通話料 (税込22円/30秒*) など別途がかかります。

割引前料金		6,580円 (税込7,238円)
割引内容 (永年)		
①家族割プラス	3人以上でご加入時 (2人でご加入時 －500円/月 [税込－550円/月])	－1,000円/月 (税込－1,100円/月)
②auスマートバリュー		－1,000円/月 (税込－1,100円/月)
③au PAY カードお支払い割		－100円/月 (税込－110円/月)

* 料金プランが異なるため金額等は一致しない。

総点検前

ソフトバンク

メリハリプラン

・対象サービス/動画SNS放題^{※1}

・動画SNS放題対象サービス込み (2GB以下の月は1,500円割引)

50GB | 20円/30秒

家族4人で加入/
おうち割 光セット適用時 **3,480** 円/月~^{※2}
(一人当たり/翌月から6か月間)

家族4人で加入/
おうち割 光セット適用なし **4,480** 円/月~^{※2}
(一人当たり/翌月から6か月間)

総点検後

家族4人で加入 / SoftBank 光・Air加入の場合^{※1}

翌月から 6か月間 **3,480** 基本料 円/月^{※2}
1人あたり (税抜)

8か月目以降は4,480円/月、5G対応機種をご利用の場合14か月目以降は5,480円/月

メリハリプラン
8,480 円/月

みんな家族割+ (4人)	-2,000 円/月
おうち割 ^{※1} 光セット	-1,000 円/月
半年おトク割 (6か月間) ^{※3}	-1,000 円/月
5G1年おトク キャンペーン (1年間)	-1,000 円/月

3,480 円/月

※1 【加入費】SoftBank 光 ファミリー (2年契約自動更新: 契約期間満了の月以外での解約には解約料9,500円が必要) の場合 5,200円/月 + 指定オプション500円/月~が別途必要です。

※2 通話定額割 (20円/30秒)。一部対象外通話あり。

※3 新規契約、のりかえ (MNP/番号移行)、機種変更または契約変更 (3G通信サービス、4G通信サービス、5G通信サービス 随時廃止) をしていただくことが条件です (USIM/単体契約も含む)。

※ また、一部事業者に対しては、他社の価格と比較して自社の価格が安い旨を強調する際に消費者の誤認を招かないようにすべき旨を指摘している。

- 本年2月以降、携帯各社(MNO/MVNO)による新しい料金プランの提供が順次開始。
- 主要各社の新料金プランの契約数は、合計で約1,570万(5月末時点での各社実績を集計)。
- 利用者アンケートにおける乗換え傾向等に基づき試算したところ、年間で約4,300億円の国民負担軽減。
- 今後の乗換えを計画中の利用者も一定程度存在。国民の負担軽減額が更に拡大することが期待。

○主要各社の新料金プラン一覧と契約数

(1)MNO各社

事業者名	新料金プラン
NTTドコモ	ahamo
	5Gギガホプレミア/ギガホプレミア
KDDI	povo
	使い放題MAX4G/5G
	UQモバイル(くりこしプランS・M・L)
ソフトバンク	LINEMO
	メリハリ無制限
	ワイモバイル(シンプルS・M・L)
楽天モバイル	Rakuten UN-LIMIT VI

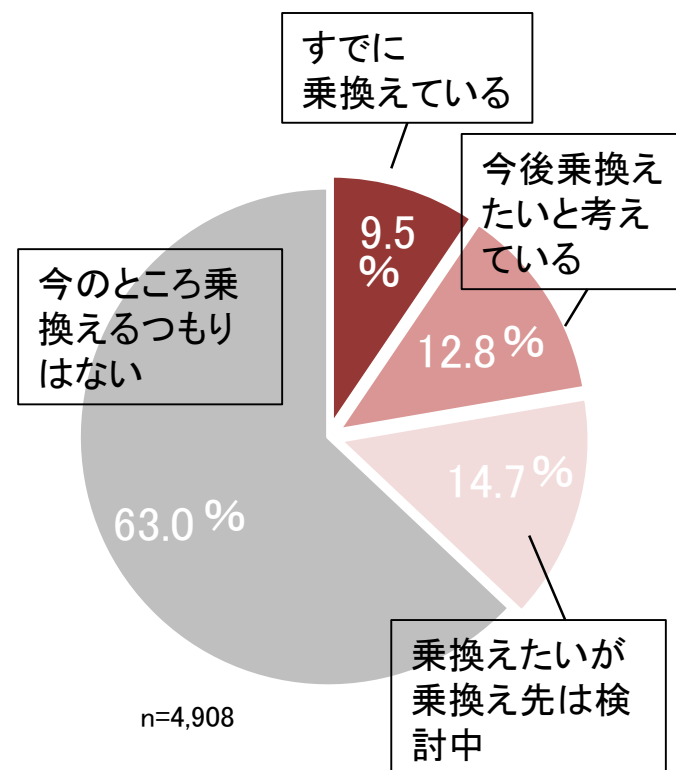
(2)MVNO各社

事業者名	新料金プラン
IIJ	IIJmioモバイルサービス ギガプラン
オプテージ	マイピタ
NTTコミュニケーションズ	SIMカード型
ビッグロブ	BIGLOBEモバイル
J:COM MOBILE	J:COM MOBILE AプランST
日本通信	合理的かけほ (2020年7月提供開始)
	合理的20GB (2020年12月提供開始)

契約数: 約1,570万

(2021年5月末時点)

○利用者の乗換え意向



※利用者意識調査結果(2021年6月実施)

○国民負担軽減額(試算)

年間約4,300億円

※: 主要各社の新料金プランの契約数、利用者の乗換え傾向(利用者意識調査結果)等と、各社旧料金プランの平均月額料金と新料金プランの平均月額料金との減額幅を用いて試算。

利用者意識調査結果(すでに乗換えた利用者の傾向)

- 総務省が実施した利用者アンケート(6月)によると、すでに乗換えた利用者に乗換え元を確認したところ、乗換え先と同じ事業者が提供する別の料金プランを利用していた者が多かった。
- 一方で、楽天モバイルの新料金プランは、楽天モバイルの利用者だけでなく、他の事業者からの乗換えの割合も多くなっている。

乗換え先 乗換え元		全体	NTTドコモ: ahamo	KDDI		ソフトバンク		楽天モバイル: Rakuten UN-LIMIT VI	MVNO
				au povo	UQモバイル: くりこしプラン S、M、L	ソフトバンク: LINEMO	ワイモバイル: シンプル S、M、L		
全体		100	20.7 (▲2.5)	11.7 24.0 (▲4.2)	12.3	2.1 15.1 (▲6.3)	13.0	32.9 (+15.7)	7.4 (▲2.6)
NTTドコモ		23.2	16.5	0.2	0.8	0.0	1.1	3.9	0.6
KDDI	au	23.5	0.4	11.0	5.6	0.0	0.6	4.8	1.0
	UQモバイル	4.7	0.4	0.0	2.7	0.0	0.4	0.8	0.4
ソフトバンク	ソフトバンク	14.4	0.9	0.0	0.6	1.7	5.9	5.0	0.2
	ワイモバイル	7.0	0.0	0.0	1.2	0.2	4.1	1.5	0.0
楽天モバイル		17.2	1.8	0.4	0.7	0.2	0.4	12.5	1.1
MVNO		10.0	0.7	0.0	0.6	0.0	0.5	4.5	3.8

※表中の数値は、「すでに乗換えた」と回答した者の総数465人を100として、乗換えの割合をそれぞれ示したもの。